



パレスチナ／イスラエル問題を 「自分のこと」として考える

東アジア史におけるグレート・ゲームに名乗り出た帝国日本との関わりを起点に、国際的な植民地主義の負の遺産としてパレスチナ／イスラエル問題を検証する。イスラエルについて、これまで知識人たちがどう正当化／批判してきたのか、思想史の観点からも迫る。

パレスチナ、イスラエル、そして日本のわたしたち
——〈民族浄化〉の原因はどこにあるのか 早尾貴紀:著 皓星社
四六判並製 344頁 2025年4月刊 ISBN:9784774408576 2,750円



差別のない楽しい社会は どうしたらつくれるだろう?

外国人労働者、沖縄、ヘイトスピーチなど、現代日本の差別と排除の問題を中高生にも分かりやすく論じる。新版では、コロナ禍で加速した差別や在日クルド人へのヘイトなど、新たな問題提起を加筆、移民・難民フェスの金井真紀さんとの対談も収録。

新版 学校では教えてくれない差別と排除の話
安田浩一:著 皓星社
四六判並製 264頁 2025年9月刊 ISBN:9784774408651 1,980円



国会図書館秘伝の 調べ物ノウハウを大公開!

国会図書館で15年にわたり、総記・人文科学・「その他」分野でレファレンスサービスに従事した著者が、実践的な「調べ物」の技術を大公開！これまでまとめられることのなかった知られざる思考法、予備知識、さまざまなおこづをわかりやすく解説する。続編に『もっと調べる技術』。

調べる技術——国会図書館秘伝のレファレンス・チップス
小林昌樹:著 皓星社
A5判並製 184頁 2022年12月刊 ISBN:9784774407760 2,200円

*価格は10%税込、2026年1月のものです。

受賞出版社紹介

第41回梓会出版文化賞

エトセトラブックス

2018年にスタートしたフェミニスト出版社です。社名には、これまで「エトセトラ（その他）」とされてきた女性やフェミニストの声を届ける、という意味を込めています。年2回発行の雑誌『エトセトラ』ほか、研究書や海外文学、ジェンダー絵本など、ジャンルを問わず出版しています。



第41回梓会出版文化賞 特別賞

太田出版

1985年設立。創業以来、『たけしくん、ハイ！』『バトル・ロワイアル』など世に問い、時に社会を揺るがす議論を巻き起こしてきました。幅広いジャンルを取り扱い、常に時代を象徴する話題作を送り出しています。定期誌に『Quick Japan』『芸人雑誌』など。



第22回出版梓会新聞社学芸文化賞

クオン

ノーベル文学賞を受賞したハン・ガンさんの作品をはじめ、韓国文学（小説・詩・エッセイ）や人文書など幅広く出版しています。さらに、日本と韓国に特化した版権仲介や、本やイベントを通じて韓国と出会うことができる韓国書籍専門書店「チェックコリ」の運営も手掛けています。



第22回出版梓会新聞社学芸文化賞 特別賞

皓星社

アジア問題やハンセン病関連の出版をテーマに1979年に創業しました。社名は「白い星」の意。現在は人文、社会、文芸、本の本、レファレンスブックなど幅広く刊行しています。近代以降に日本で発行された雑誌記事索引のデータベース「ざっさくプラス」も運営しています。



梓会 図書館クラブ 通信

Azusa-kai Library Club



図書館は本の森。出版梓会は事典から絵本までユニークな本を丁寧に作る出版社の集まりです。この葉では毎回テーマを決めて、読書の愉しみを、ひとりの時間を極上にしてくれるお宝本を、こっそりお教えします

「第41回梓会出版文化賞」
「第22回出版梓会新聞社学芸文化賞」
が決まりました！

この賞は、優れた出版活動を行っている「出版社」を顕彰するユニークな賞です。
この号では受賞社の紹介と各社イチオシの近著をご紹介します。

賞の詳細は、梓会HPまで。
<https://www.azusakai.or.jp/>



出版梓会
データダウンロードはこちら⇒



なぜ日本ではこんな性犯罪が、日常化してしまっているのか？

加害でなく、「冤罪」ばかりが語られるのはなぜか。戦後から現在までの雑誌や新聞記事を分析し、日本社会の「痴漢」意識ができあがっていく過程を読みとく、これまでなかった研究書。警察官を経て研究者となった著者による、解決策を考えいくために必読の一冊。

痴漢とはなにか——被害と冤罪をめぐる社会学

牧野雅子：著 エトセトラブックス

四六判並製 256頁 2019年11月刊 ISBN:9784909910011 2,640円



「ダメ。ゼッタイ」に代わる、有効な手立てはありますのか？

アルコール依存症の治療中で数多くの自助グループを運営する文学研究者・横道誠と、ニコチン依存症で依存症治療を専門とする精神科医・松本俊彦が語り合い、

依存症当事者と当事者家族・支援者・専門家に、「新たな気付き」と「深い肯定」を与えた1冊。

酒をやめられない文学研究者とタバコをやめられない精神科医が本気で語り明かした依存症の話 松本俊彦、横道誠：著 太田出版

四六判変形並製 304頁 2024年9月刊 ISBN:9784778319557 2,420円



アメリカではいま、保守派による禁書運動が暴走している

禁書運動のターゲットになっているのは、〈古き良きアメリカ〉を理想に掲げる保守派にとって都合の悪い、さまざまなマイノリティを描いた絵本たちだ。NY在住ライターが禁書となった数々の魅力的な絵本を通して、分裂したアメリカ社会の姿を描き出す。

絵本戦争——禁書されるアメリカの未来

堂本かおる：著 太田出版

四六判並製 200頁 2025年1月刊 ISBN:9784778340117 2,970円



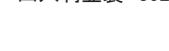
『ポケットモンスター』開発秘話を描いた名著が復刊！

『ポケットモンスター』を生み出した田尻智とゲームフリークの軌跡に追ったノンフィクション。単なる成功譚ではなく、同人誌から始まった初期衝動や創作へのひたむきな情熱、新しいカルチャーが生まれる瞬間を捉え、「好き」を貫いたクリエイターの本質に迫る。

ゲームフリーク——遊びの世界標準を塗り替えるクリエイティブ集団

とみさわ昭仁：著 太田出版

四六判並製 352頁 2025年4月刊 ISBN:9784778340186 2,420円



韓国現代文学の最高峰『土地』全20巻を世界で初めて完訳

韓国の女性作家の草分け的存在である朴景利の代表作『土地』。近現代の東アジアを舞台に激動の時代を生きる人々を描いた、韓国現代文学における最大の大河小説である。クオンでは完訳チームを組み、01巻の邦訳刊行から約10年かけて全20巻の完訳を成し遂げた。

完全版 土地 01巻

朴景利：著 金正出：監修 吉川凪：訳 クオン

四六判上製 480頁 2016年11月刊 ISBN:9784904855416 3,080円



日本語版独自のコンテンツを加えたロングセラー・インタビュー集

日本と共に通する課題が多い韓国の社会を、微かながらも確かな光で照らす人々の声を丁寧に記した、琴線に触れるインタビュー集。韓国では発売から5年で14刷となっている。日本語版では韓国生活30年のライター伊東順子が翻訳と書下ろしコラム執筆を担当。

韓国の今を映す、12人の輝く瞬間

イ・ジンスン：著 伊東順子：訳 クオン

四六判並製 360頁 2024年5月刊 ISBN:9784910214597 2,420円



〈食〉は暮らしと文化の生命線

今から約百年前の朝鮮半島で、人々のいのちをつなぎ、生活を彩った〈食〉の数々が、作家や記者らの筆によって臨場感をもって描かれる。どこから読んでも味のある、小説、エッセイ、ルポルタージュ40選。翻訳はコリアン・フード・コラムニストの八田靖史。

書かずにいられない味がある——100年前の韓食文学

イ・サン：編 八田靖史：訳 クオン

四六判並製 244頁 2025年10月刊 ISBN:9784910214641 2,200円



カモノハシのアムです！ 絶滅危惧種デス。欲しい本を見つけて泣いて喜んでいます。アムの呪文は「生きていればきっと良い事がある！」 以後お見知りおきを